

② コウモリ

概要

平成23年（2011年）秋に数日をかけて、コウモリ類の生息分布調査を実施しました。調査員が夕方から夜にかけて自転車やバイクで移動し、空中にコウモリが見えたり、ここなら居そうだと思うところで、写真（右）のようなバットディテクターを使って声を確認しました。

その結果、市内のほとんどどこにでもアブラコウモリが生息していることがわかりました。また、それ以外のコウモリ類は確認できませんでした。

声

バットディテクターで調べると、20KHzあたりと40～50KHzあたりにコウモリの声が確認され、他の周波数では聞くことができませんでした。このような高さでの声はほぼアブラコウモリだけのようです。

コウモリは行動に合わせて声をかなり変化させていますので、ピピッとカジジジというような“鳴き方”だけで種類を区別するのは難しいようです。

分布場所

観察の結果、コウモリがたくさんいるかどうかは、食べ物（昆虫類）がたくさんあるかとか、水を飲む場所や巣を作ったりできる場所（危険無く出入りできる建物など）があるかなどで決まるようです。これらがそろっていると多数のコウモリが集まってきているように思われました。



行動等

観察できたコウモリはすべて飛びながら、空中を行ったり来たりして鳴き続けており、昆虫類を追い回しているコウモリもしばしば見かけました。また、水面付近でのコウモリは直線上の波紋を立てたり水滴を落としていたことから、飛びながら水を飲んでいましたようです。

今後の課題

今回アブラコウモリの分布などはかなりつかめました。が、季節が変わるとどうなのか、アブラコウモリ以外はいないのかなどの判らないことがまだまだあります。

コウモリの声は人には聞こえにくい超音波なので、耳に聞こえる周波数に変える器械が、このバットディテクター（コウモリ探知機）です。



バットディテクター（コウモリ探知機）



アブラコウモリ

コウモリ分布図

